

## 江津湖の日の出

冬の朝の凜とした空気をやわらかな光がときほぐしてゆく。やがてゆっくりと太陽が顔を出す。湖面いちめんに湧き立つ朝霧、その中に見え隠れする水鳥たち。江津湖の冬の夜明けは、まさに、一幅の絵の世界となる。

周囲約6キロ、湖面総面積5ヘクタールの湖は、熊本市中心部に隣接していることを忘れさせるほどに、豊かな自然を提供してくれる。

みなも  
水面に霧が湧く。

湖の冬の朝。

菊池台地、託麻原台地から毎秒6〜10トンもの伏流水が湧き、水温も年間を通して19〜20度と温かい江津湖は、水生動物たちにとっても格好の生息場所。毎年七、八千羽のカモが冬を越し、ヘラブナの宝庫としても知られている。

昨年、グリーンピクニックでにぎわった会場は、いま公園として整備が進行中。新しい憩の場となりそうだ。